

## 地区インターアクト海外研修 報告

インターアクト委員会 委員長 **鮫島武信**  
(大阪南RC)

本年のインターアクトクラブの海外研修は、8月5日～8日(3泊4日)の日程で、台湾台北の第3520地区を訪問しました。7クラブの参加となった今年は、インターアクター44名、顧問の先生8名、看護師1名、ロータリアン25名の総勢79名での研修となりました。

[関空での結団式]

結団式は、泉ガバナー、岡部パストガバナー、立野ガバナーエレクトを始めとする多くのロータリアンのご出席を頂き、当番校の大阪桐蔭IAの司会とスピーチなどが行われました。

[第1日目：空港～ホテル]

桃園国際空港に到着後、故宮博物館などを見学し、サントスホテルにチェックインしました。

[第2日目前半：学校訪問]

国立台北商業技術学院を訪問しました。出席者の紹介、第3520地区からは林谷同ガバナー、同学院の張瑞雄学長、盧明珠理事長並びに陳志人地区IA委員長の挨拶、当地区からは泉ガバナーからの親書の代読、地区IA委員長挨拶、地区バナーと記念品の交換などが行われた後、インターアクター達の時間が始まりました。

英文での日台両IAの紹介、日本IAの合唱、日台IAをグループに分けて、グループ内での自己紹介やゲームを行った後に、各自が持ち寄ったプレゼントを交換しました。



[第2日目後半：社会貢献活動とウエルカムパーティ]

台北鉄道駅に移動し、社会貢献活動を行いました。「発票」と呼ばれるレシートを街行く人達から収集箱に入れてもらって、「創世基金会」という福祉事業団体に寄付しました。

台湾側主催のウエルカムパーティが行われ、林谷同3520地区ガバナーからは、今年度中に台湾から日本当地区に訪問を実現したいとの言葉を頂きました。

[第3日目：グループ散策とフェアウルパーティ]

午前中にケーキ工場などを見学した後、午後から日台のIAは、前日のグループに分かれて、市内を自由散策しました。夕刻の日本側主催のパーティでは、当番校を提唱する大東RC高島会長や林華明第3520地区ガバナーエレクトなどの挨拶、台湾の青年達による和太鼓の実演、浪速学院IAによる日舞、日本側IA全員による「ふるさと」の合唱と続き、河内音頭の披露でパーティは大団円を迎え、日台全参加者が踊りの輪に入り、弾ける若いパワーと友情の熱い思いが会場を包むうち、「再見」の言葉を交わし合い会場を去りました。

[第4日目：解団式・帰国]

台北郊外にある九份の山腹から台湾の海と空の青さを楽しんだ後、解団式にて大阪桐蔭IAから相愛学園IAへ団旗の引継が行われました。多くのロータリアン、看護師派遣の住友病院、地区委員並びに事務局など皆様のご支援ご協力の下、全員無事帰国の報告が出来ましたこと、厚く感謝申し上げます。

